

# たちばな学び館だより

2022年3月号 発行：たちばな学び館・高崎地域振興課

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。

ご家族お揃いで読書はいかがですか。



所在地

〒889-4592

都城市高崎町大牟田 1150 番地 1

電話とファックス 0986-45-8181

たちばな学び館は、小さな図書館です。

たちばな学び館は、高崎総合支所 2階にあります。

どなたでもお気軽にご利用いただける図書室です。

土曜日・日曜日は、東側の守衛室前出入口をご利用ください。



【休館日】

毎週月曜日、祝日、12月29日～1月3日、6月1日～6月15日

【開館時間】

午前9時30分～午後1時、午後2時～午後5時  
(午後1時～午後2時は閉館です。)

【館外貸出】

一度に3冊まで、うち新刊1冊(未返却含む)、  
期間は2週間です。

宮崎県立図書館・都城市立図書館の蔵書も、借りたり  
返したりできます。気軽に声をかけてくださいね。



## 新刊案内

『ひとりでカラカサさしてゆく』 江國 香織 / 集英社

三人の男女はなぜ、大晦日の夜に一緒に命を絶ったのか。  
妻でも、子供でも、親友でも、理解できないことはある。  
唐突な死をきっかけに絡み合う残された者たちの日常。  
人生におけるいくつもの喪失、いくつもの終焉を描く物語。



『さよならも言えないうちに』 川口 俊和 / サンマーク出版

「最後」があるとわかっていたのに、なぜそれがあの日だと思えなかつた  
んだろう…。

「君のおかげで僕が幸せだったことを、君に知っててほしかった」

家族に、愛犬に、恋人に会うために過去に戻れる不思議な喫茶店フニクリフニクラ  
を訪れた4人の男女の物語。



裏面へ続く

## 新刊案内

### 第166回 芥川賞受賞作

『ブラックボックス』 砂川 文次／講談社

ブラックボックス、それは自分の中の闇、そして社会の闇。現代の生きづらさを圧倒的に生々しく描く傑作。

自転車便メッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。



### 第166回 直木賞受賞作

『塞王の楯』 今村 翔吾／集英社

どんな攻めをも、はね返す石垣。どんな守りをも、打ち破る鉄砲。

「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説。



『黒牢城』 米澤 穂信／KADOKAWA

本能寺の変より四年前、天正六年の冬。織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。

動揺する人心を落ち着かせるため、村重は、土牢の囚人にして織田方の智将・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。

戦と推理の果てに村重は、官兵衛は何を企む。



## ★こども向け★

- ・ゆめぎんこう／コンドウ アキ
- ・どうぶつ まぜこぜ あそび／サトシン
- ・銭天堂16巻／廣嶋 玲子
- ・おとなを動かす悩み相談クエスト／山崎 聡一郎
- ・山火事のサバイバル①②
- ・地下鉄のサバイバル①



## ●2022年 本屋大賞/ミネート作品●

- ・赤と青とエスキース／青山 美智子
- ・硝子の塔の殺人／知念 実希人
- ・黒牢城／米澤 穂信
- ・残月記／小田 雅久仁
- ・スモールワールズ／一穂 ミチ
- ・正欲／朝井 リョウ
- ・同志少女よ、敵を撃て／逢坂 冬馬
- ・星を掬う／町田 そのこ
- ・夜が明ける／西 加奈子
- ・六人の嘘つきな大学生／浅倉 秋成



他にも、いろんな本を  
たくさん揃えています☆  
ぜひ遊びにきてくださいね!